

令和7年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 折尾東 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和7年6～7月に、5年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。（熱中症等の予防の観点から、20mシャトルランについては、5月中旬から6月上旬に実施しています。）

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部です。

1. 調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上にかかる施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査内容

(1) 実技に関する調査

[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

(2) 質問調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問調査

3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市・本校の実技調査の結果

<男子>

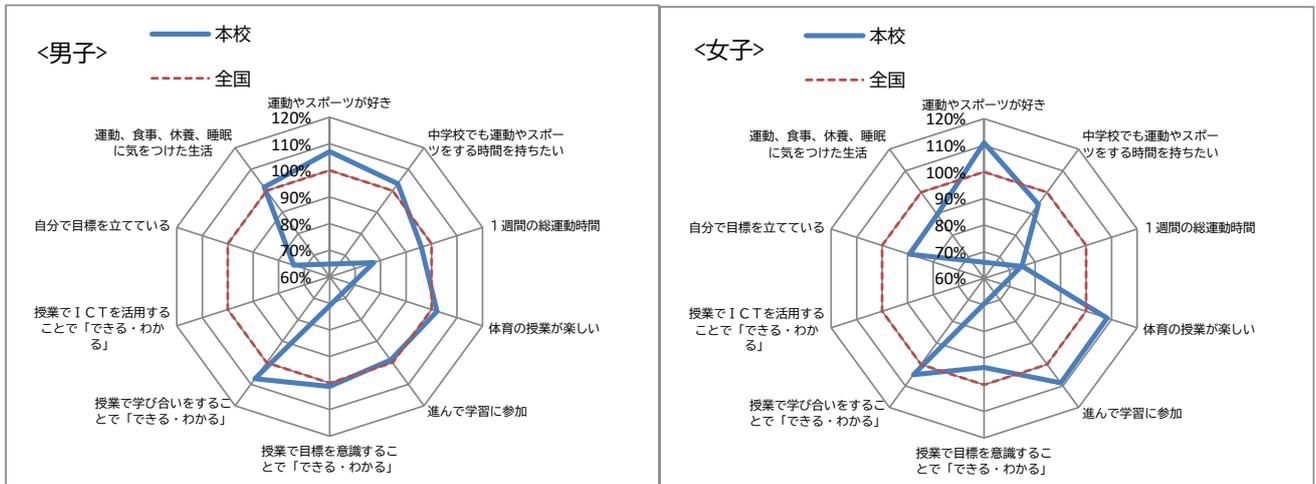
本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
本市	16.16	19.89	34.46	41.16	50.80	9.47	152.45	22.02	54.09
本校全国平均以上の種目	○								

<女子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97
本市	15.73	18.70	38.63	39.23	39.35	9.75	144.11	13.51	54.98
本校全国平均以上の種目				○	○		○	○	

4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問調査結果の概要

質問調査レーダーチャート



質問調査の結果分析

運動や体育に対して肯定的な児童が多く、男子では「運動が好き・やや好き」が100%、体育の授業についても多くの児童が「楽しい」と回答していた。生活習慣についても、睡眠時間や朝食の有無は概ね良好で、生活リズムに課題は少ないといえる。しかし、週あたりの総運動時間では男女差が大きく、特に女子では「0分」の児童が28.6%と高く、運動量を確保できていないことから、継続的に身体を動かす機会の不足があると考えられる。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科（授業）に関する取組（全校で・学年で・学級で）

「基礎的な体力の向上」と「運動への参加しやすさ」を大切にしたい取り組みを進めていく必要がある。授業では、柔軟運動や体幹づくり、短いランニングなどの基礎運動を継続的に取り入れ、児童が無理なく体力を伸ばせるようにする。また、自分の成長が分かるよう、単元ごとの記録の見える化やタブレットでの動きの確認も充実させていく。

② 運動習慣等に関する取組（1校1取組）

「1日60分の身体活動」を目標に、記録カード等を配布し、中休みや昼休みに行える取り組みやすい軽い運動や外遊びの紹介を行うことで、楽しみながら自然に運動量が増える時間をつくる。放課後等の運動習慣についても、情報発信を行い、学校と家庭が協力して子どもたちの健康づくりを支えていく。